

必見！学校行事

2025年9月1日
田中学園立命館
慶祥小学校
6年 森 真楓

学校の3大フェスに迫る！

私の通っている学校「田中学園」には、3つの大きな行事があります。

その一つが「Sport Festival」、いわゆる運動会です。

しかし、田中学園の運動会は少し特別です。

一般的な運動会といえば、学年ごとに赤白に分かれて競い合う姿を想像するかも知れません。

でも、田中学園では1年生

から6年生までを4つのチームに分けて行います。そして、勝ち負けよりも「挑戦する力」や「協働する力」を育むことを大切にしています。

今年は「まだ誰もやったことのないことをしよう」ということで、保護者も参加できる「テイルノサウルス競争」を初めて開催しました。予約はなんと開始1分で満員！当日は大盛り上

がりで、笑顔と歓声のあふれる楽しい時間となりました。

2つ目は「Art Festival」です。これは、いわゆる学習発表会にあたります。しかし、田中学園のArt Festivalは劇以外にも工作などができます。（続きは記事



今年のSport Festivalの結果発表の様子。僅差で緑のチームが優勝。

田中学園特有の行事！



昨年のアートフェスティバルの様子。

なんと、生徒一人ひとりが10種類以上の活動から、自分のやりたいものを自由に選べます。ダンスやフリースタイル、アート作品

展示などいろいろな選択肢があり、自分の得意や興味を思いきり発揮できます。さらに、学年をこえて活動できるのも大きな魅力です。

す。普段はあまり関わらない上級生や下級生と一緒に練習や準備をすることで、新しい発見や交流が生まれ、みんなの仲も深まります。Art Festivalは、好きなことに挑戦し、学年をこえた仲間と協力することで表現力やコミュニケーション力を育てることができ

3つ目はAcademic Festivalです。6年生がこれからの将来のために自分の興味あることを下級生にスライドで伝える行事です。下級生はプレゼンを聞いて知識を増やし、6年生はどうすれば分かりやすく伝わるかを考える、とても良い学びのフェスティバルとなっています。

海外研修がある？

体験談も語ります！



台湾研修の様子。奥が台湾生徒、手前が田中学園生徒。

ドへ海外研修に行きます。シンガポールと台湾は3泊4日、ニュージーランドは約1週間です。シンガポールは少しの間ホームステイで交流し、ニュージーランドはホームステイをして現地の学校に通います。私は台湾に行き、ホテルに泊まり、有名な建物や食べ物を楽しみ、学校にも少し行きました。距離は近いのに文化の違いは大きく、台湾の学校は教室の外がすぐペランダのような廊下でした。海外研修では、現地の文化や日本との違いを体験しながら、英語で多く話すことでコミュニケーション力も高めることができ、とても良い学びになりました。

Japan Weekの魅力とは？

私の学校には「Japan Week」という修学旅行があります。普通の学校では6年生だけが行う行事ですが、この学校では全学年が参加します。1・2年生は宿泊せず、月寒公園や大通公園などへ出かけます。3・4年生は宿泊学習を行い、3・4年生は1泊2日、5年生は2泊3日です。行き先は、3年生が雨竜町でお米について学び、4年生がニセコ町で地域について学びます。5年生は九州地方を訪れ、吉野ケ里遺跡や熊本



赤平でのロケット打ち上げ体験をしている様子。

城、水俣病など多くのことを学びます。「あれ、6年生は？」と思ったかも知れませんが、6年生は宿泊はせず、赤平町の植松電機で植松社長のお話を聞き、ロケット打ち上げを体験しました。とても貴重な学びになりました。また、Japan Weekでは学習内容だけでなく、公共の場でのマナーやルール、思いやりについても学ぶことができます。これらは、普通の授業ではなかなか身につけにくいと思うのでとてもいい行事だと思います。

一年に四回ある行事が？

私の学校には、年に4回行われる「ツリーチャレンジ」という行事があります。春・夏・秋・冬で内容が異なり、春は1年生歓迎パーティー、夏は委員会活

動のお祭り、秋は真駒内公園への遠足、冬は6年生お別れの会です。これも学ぶの一環です。

1・2年生は物事に一生懸命取り組む力が身につきます。このようにツリーチャレンジは、ただ楽しいだけでなく、学年ごとに役割があり、それぞれが成長できる貴重な機会です。学年をこえて協力することで、助け合う心やリーダーシップ、責任感が自然と育ちます。準備や本番を通して、相手の立場を考える大切さや、声をかけ合うことの大事さにも気づきました。私はこの行事を通して仲間との絆が深まり、自分の成長も強く実感できました。

編集後記

私の学校の行事では、「誰もやったことのないことに挑戦する」「多学年との交流で協働する力をつける」「自分の興味や得意を伸ばす」「普段の授業では学べない

ことを体験する」ことができます。これらは、ほかの学校にはない大きな魅力です。私は、この行事を楽しみうちに、勝ち負けよりも「楽しめたか」「成長できたか」を大切に考えるようになりました。もめごともなく楽しく取り組めるようになりました。新聞を読んでくださり、ありがとうございました。